

授業科目名	精神保健看護Ⅱ			担当教員	石飛 マリコ、高橋 清美
開講年次	3年前期	セメスター	5	時間数(単位数)	30 (1)
必修選択	必修	授業形態	演習	使用教室	
授業の目的	精神の健康が脅かされることによって生じる様々な影響を理解し、日常生活や社会生活の回復を促進し、共生していくための支援体制や看護に必要な知識、方法を習得する。				
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神に障害のある患者の状態、治療・検査方法について理解できる。 2. 精神に障害のある人の看護の共通な援助方法を理解できる。 3. 精神に障害された人の治療的環境を整えるための方法を理解できる。 4. 精神に障害のある人の看護過程の展開方法を理解できる。 				
授業計画					
回	授業内容	授業方法	学修課題 (予習・復習)	取組時間	担当者
1	精神科アセスメント(精神症状・状態像、セルフケアの把握)	講義	予習1) 疾病と治療Ⅳの精神科的疾患(脳の機能)の見直し 予習2) 教科書Ⅱの第5章 p223-351	予習 / 1時間 復習 / 1時間	高橋
2	統合失調症を持つ人とその家族への看護(急性期看護) 隔離室における看護	講義	予習1) 疾病と治療Ⅳの精神科的疾患の見直し 予習2) 教科書Ⅱの第3章 p138-142、第4章 p 194	予習 / 1時間 復習 / 1時間	石飛
3	統合失調症を持つ人とその家族への看護(回復期、慢性期看護) 精神障がい者とその家族の地域生活支援	講義	予習1) 疾病と治療Ⅳの精神科的疾患の見直し 予習2) 教科書Ⅱの第3章 p138-142	予習 / 1時間 復習 / 1時間	石飛
4	気分・感情障害を持つ人とその家族への看護①	講義	予習1) 疾病と治療Ⅳの精神科的疾患(気分感情障害)の見直し 予習2) 教科書Ⅱの第3章 p143-146	予習 / 1時間 復習 / 1時間	高橋
5	気分・感情障害を持つ人とその家族への看護②	講義	予習1) 疾病と治療Ⅳの精神科的疾患(気分感情障害)の見直し 予習2) 教科書Ⅱの第3章 p143-146	予習 / 1時間 復習 / 1時間	高橋
6	症状アセスメントとケアプラン(操作、依存状態、摂食行動障害、パニック障害、解離性障害等)	講義	予習) 教科書Ⅱ第5章該当ページの通読、教科書Ⅱ第3章 p 146-160	予習 / 1時間 復習 / 1時間	石飛
7	精神療法、SST、認知行動療法を受けている患者の看護 提出物；薬物療法および精神療法・心理教育に関するレポート； 各項目 A41 枚以上 1200 字以上	講義	予習1) 教科書Ⅱの第2章 p 94-117	予習 / 2時間 復習 / 1時間	石飛
8	アウトリーチ型精神医療と看護について	講義・演習	予習1) 地域移行、退院支援に関する資料収集をする 予習2) 教科書Ⅰ p167-204, 教科書Ⅱ p203-222	予習 / 1時間 復習 / 1時間	渡邊 (ちはや ACT クリニック 院長)

9	精神看護における安全管理 (誤嚥性肺炎、水中毒、悪性症候群)	講義	予習2) 教科書Ⅱの第4章p 172-202	予習 / 1時間 復習 / 1時間	高橋
10	包括的暴力防止プログラム (CVPPP) の実践 精神科訪問看護、デイケアでの看護	講義・演習	予習1) CVPPP、精神科訪問看護、 デイケアに関する資料を収集する 予習2) 教科書Ⅰ p167-204, 教科書Ⅱ p203-222	予習 / 1時間 復習 / 1時間	太宰府病院 看護師
11	精神看護における看護過程 —セルフケア理論の基づく観察・ アセスメント・看護問題—	講義・演習	予習1) 事例を熟読しておくこと 予習2) 教科書Ⅱの第1章p 44-60	予習 / 3時間 復習 / 1時間	石飛
12	精神看護における看護過程 —セルフケア理論の基づく観察・ アセスメント・看護問題—	講義・演習	予習1) 事例を熟読しておくこと 予習2) 教科書Ⅱの第1章p 44-60	予習 / 3時間 復習 / 1時間	石飛
13	精神看護における看護過程 —セルフケア理論に基づく看護目 標と看護計画、評価—	講義・演習	予習1) 事例を熟読しておくこと 予習2) 教科書Ⅱの第1章p 44-60	予習 / 3時間 復習 / 1時間	石飛
14	精神看護における看護過程 グループ発表	講義・演習	予習2) 教科書Ⅱの第1章p 44-60 復習) 患者の強みを生かす看護、ア ドヒアランスについて理解を深めておく こと	予習 / 3時間 復習 / 1時間	石飛
15	精神保健看護Ⅱの総括 定期試験へのフィードバック	講義・演習	予習1) 試験終了後の復習を行い、 自己の課題を明確にする	予習 / 2時間 復習 / 2時間	石飛
先行履修 科目	2年後期までに履修すべき全ての科目				
テキスト	吉松和哉 他 著：第6版 精神看護学Ⅰ 精神保健学. ヌーヴェルヒロカワ, 2015. 川野雅資 他 著：第6版 精神看護学Ⅱ 精神臨床看護学. ヌーヴェルヒロカワ, 2015.				
参考文献	井上令一:カプラン臨床精神医学テキスト DSM-5 診断基準の臨床への展開 第3版. メディ カル・サイエンス・インターナショナル, 2016. 中井久夫・山口直彦:第2版 看護のための精神医学. 医学書院, 2004. 長嶺敬彦:抗精神病薬の「身体副作用」がわかる. 医学書院, 2006.				
メッセージ	授業後は、学んだ内容とそのポイントを明確にするための復習を1時間してください。				
科目の 位置づけ	本科目は、精神保健看護Ⅰの学修を礎に、精神保健看護実習へとつながっていく位置づけに ある。				
ディプロマポリシー との関連	人間の尊厳と権 利を擁護する力	自己教育力	チームで働く力	問題解決力	看護の専門性 を探究する力
		○		◎	
評価方法	授業への参加度 (10%)、個人課題提出；看護過程 (5%)、薬物療法および精神療法・心 理教育に関するレポート；各項目 A41 枚以上 1200 字以上 (5%)・定期試験 (80%) にて 評価する。				